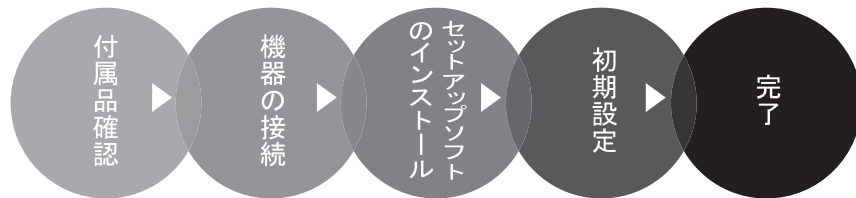


この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございます。

- 本書は製品の導入にあたり初期の設定の方法と本製品にアクセスするまでの手順を簡単にご説明いたします。
詳細の設定につきましては付属のCD-ROMに保存されている「ソフトウェアマニュアル(PDF)」をご参照ください。

■ セットアップの流れ ■



クイックスタートガイド

QUICK START GUIDE

LHD-NASシリーズ

■ セットアップツールのインストール ■

1 セットアップ用PCIに付属のユーティリティCD-ROMを入れます。

2 セットアップランチャーが起動したら、セットアップする製品のアイコンをクリックし、「セットアップの起動」ボタンを押します。
※セットアップランチャーが自動的に起動しない場合はCD-ROM内の「setup.exe」を実行してください。

3 「次へ」を押します。

4 使用許諾契約をよく読み、「はい」を押して次に進みます。

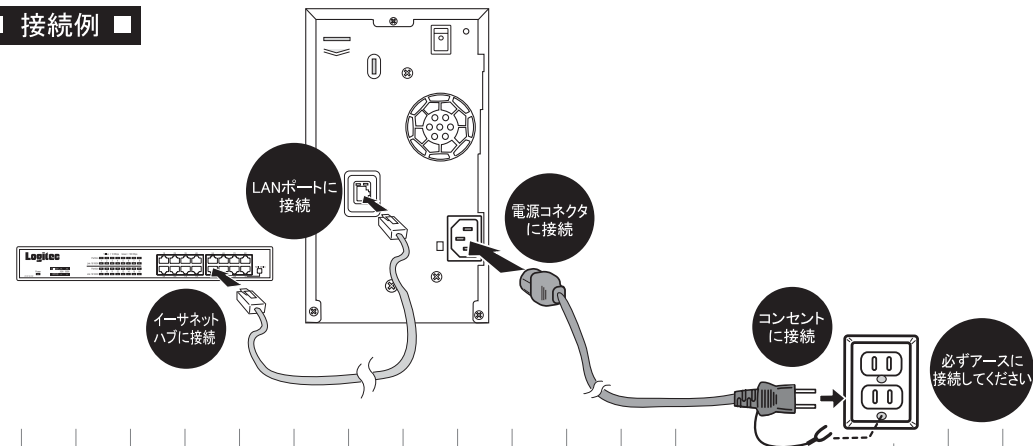
5 セットアップタイプを選択し、「次へ」を押します。
※通常は「標準」でインストールしてください。必要に応じて、「コンパクト」や「カスタム」を選択してください。

6 インストールが完了です。「完了」を押してインストールを終了したら、製品のセットアップに移ります。

■ 付属品の確認 ■

- ネットワークストレージユニット 1台
- 電源コード 1本
- ソフトウェアCD-ROM 1枚
- Logitec NASサポートディスク 1枚
- ゴム足 1シート
- クイックスタートガイド(本書) 1枚
- ハードウェアマニュアル 1冊
- 保証書/ユーザー登録カード 1枚

■ 接続例 ■



■ セットアップの準備 ■

本製品のセットアップにあたり、以下のものをご用意ください。

■ セットアップ用PC(対応OS)

Windows XP Home Edition/ Professional、Windows Me、Windows 98 (Second Edition 含む)、Windows 2000 SP2以降、Windows NT 4.0 SP6以降

Mac OS X 10.0.3以降、Mac OS 9.0.4以降

上記のいずれかを搭載し、デフォルトのブラウザがInternet Explorer 5.0以降になっているもの。
※このクイックスタートガイドではWindowsを例にご説明しております。Macintoshでは「セットアップツールのインストール」方法が異なります。詳しくは付属のCD-ROMに保存されている「ソフトウェアマニュアル」および本製品同梱の「正誤表」をご確認ください。

■ UTPケーブル

既存のネットワークに接続してセットアップを行う場合には「ストレートタイプ」を使用します。また、セットアップ用PCと直接接続する場合には「クロスタイプ」を使用します。

裏面につづく →

■ **基本設定** ■

● スタートメニューから「プログラム」→「Logitec」→「LHD-NASシリーズユーティリティ」→「LogitecNAS Assistant」の順にクリックし「LogitecNAS Assistant」を起動させます。

① 設定するHD(NAS)を選択して、管理ボタンを押します。

② DHCPサーバがある場合、DHCPサーバがない場合、デフォルトのパスワード「password」を入力し、使用するネットワーク環境に応じた設定を入力し、適用ボタンを押してください。

③ 「次へ」をクリック

④ HD(NAS)名を入力してください。その他の項目はDHCPサーバのある環境では自動的に設定されます。DHCPサーバのない環境では必要に応じて入力してください。
※サーバ名は半角15文字以内で、最初の1文字目は英字で設定してください。

⑤ システム管理者のパスワードを入力します
※セキュリティ上、パスワードを設定することを勧めます。また、設定したパスワードは忘れないようにしてください。
※デフォルトでは「password」と設定されています。

⑥ システムの日付を設定し、次へ進みます。

⑦ 使用する言語を選択し、次へ進みます。

⑧ エラー通知用のメールアドレスを設定します。設定しなくても運用可能ですので、必要に応じて設定してください。

⑨ これで基本設定は完了です。終了ボタンを押すと詳細設定を行うためにブラウザが起動します。すぐに運用する場合にはそのまま閉じてください。

■ **アクセス方法** ■

Windows 98, NT 4.0 からのアクセス(CIFS共有)

「スタート」ボタンをクリックし、「検索(C)」を選択後、「ほかのコンピュータ」をクリックし、ウィンドウを開きます。

・「コンピュータ名(M)」の欄に本製品のIPアドレスかサーバーアプライアンス名を入力し、「検索開始(S)」をクリックします。見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックすると共有フォルダが現れます。

・「コンピュータ名(M)」の欄に本製品のIPアドレスかサーバーアプライアンス名を入力します。

・検索開始(S)をクリックし、見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックします。すると、共有フォルダ(Public)が現れます。

Windows Me, 2000からのアクセス(CIFS共有)

「マイネットワーク」をダブルクリックし、ウィンドウを開き、ツールバーの「検索」をクリックし、検索ウィンドウを開きます。

Windows XPからのアクセス(CIFS共有)

「スタート」ボタンをクリックし、「マイコンピュータ」を選択後、「マイネットワーク」をクリックし、ウィンドウを開きます。

・ツールバーの「検索」をクリックし、検索コンピュータの「コンピュータ名」の欄に本製品のサーバーアプライアンス名かIPアドレスを入力します。「検索(R)」をクリックし、見つかったコンピュータのアイコンをダブルクリックすると共有フォルダ(Public)が現れます。

・AppleShareを選択し、「ファイルサーバの選択」に現れたリストからサーバーホスト名を選択します。サーバーホスト名が現れない場合は、「サーバーのIPアドレス」をクリックして、IPアドレスを入力し、「接続」をクリックします。

・ユーザ名とパスワードを求めてきますので、特に本製品にユーザ登録していない場合はguestを選択します。

MacOS (MacOS 8.6/MacOS 9.0.4~)からのアクセス(AppleTalk共有)

Appleメニューより「セクタ」を選択します。共有ボリューム選択画面が現れますので、利用したいボリュームを選択します。

つづく